

令和2年度第2回指定管理者候補者選定委員会 議事録（概要）

日時：令和2年(2020年)10月26日(月)18:00～

場所：市役所8階大会議室

1 開会

(行政改革課長)

- ・ これより、「令和2年度第2回函館市指定管理者候補者選定委員会」を開会する。
- ・ 本日は、委員7名中6名が出席しており、会議が成立することを報告する。
- ・ それでは、以後、会議の進行は委員長にお願いする。

2 選定施設・選定方法等の確認

(委員長)

- ・ 会議は非公開で行う。ただし、出席した委員名は、選定結果とともに後日公表することとなる。また、議事録についても、発言した委員名が特定されない形で概要版を公開するので、あらかじめご承知おき願いたい。
- ・ それでは、本日の選定施設や選定方法等について、事務局に説明を求めたい。

(行政改革課長)

- ・ 本日の選定対象施設について、公募施設は、複数の応募があった施設が「亀尾ふれあいの里」の1件、新規施設が「函館市民スケート場」の1件、現指定管理者1団体のみのお応募であった施設が「青函連絡船記念館摩周丸」、「はこだてみらい館・はこだてキッズプラザ」、「南茅部地域社会教育施設等」の3件の計5件である。また特例施設の5件とあわせ、合計で10件となっている。
- ・ 公募施設の選定については、各委員の採点結果を集計し、その平均が最も高得点となった団体について、委員の合意により決定する「総合点数方式」である。
- ・ 公募施設のうち、複数の応募があった施設や新規施設については、必ず応募団体へのヒアリングを実施することとしているため、「亀尾ふれあいの里」と、「函館市民スケート場」のお応募団体に対しては、ヒアリングを実施するが、必要に応じて所管部局をヒアリングすることも可能である。
- ・ なお、現指定管理者1団体のみのお応募であった公募3件については、特にヒアリングする事項がなければ省略できる。
- ・ 特例5件については、評価基準に基づき、適当かどうかを判断する「採決方式」として
- ・ いる。
- ・ 御審議のほどよろしく願いたい。説明は以上である。

(委員長)

- ・ 事務局から、現指定管理者1団体のみのお応募であった3件のヒアリングの省略等について説明があったが、各委員からこの3件の所管部局または応募団体に対し、ヒアリング

をして確認すべき事項はあるか。

(選定委員)

- ・ なし

(委員長)

- ・ では、この3件についてはヒアリングを省略することとする。事務局には3件の採点表の回収をお願いする。
- ・ その他事務局の説明に対し、何か質問等はあるか。

(選定委員)

- ・ なし

(委員長)

- ・ では、特にないようなので、審査および候補者の決定に移ることとする。

3 亀尾ふれあいの里の審査

(委員長)

- ・ それでは、亀尾ふれあいの里の審査を行う。はじめに「トピア米原」へのヒアリングを行う。
- ・ (トピア米原 入室)
- ・ (トピア米原から応募内容についての説明後、質疑応答)

【質疑応答の概要】

◆選定委員	◆ 収支計画書の維持管理費について、市の積算約 410 万円に対して約 630 万円の積算額が示されている。また、事業費については、市の積算約 820 万円に対して約 1,200 万円の積算となっており、ともに超過した金額となっているが、積算の考え方について伺いたい。
◇トピア米原	◇ 維持管理費については、大雪によりハウスが潰れるなど、突発的なことへの対応を考慮し、市の積算よりも高くなった。個人的に所持しているハウスから部品を流用し補修するなどして、支出を抑える努力はしている。
◆選定委員	◆ 提案書には、個人が所持している機械などを利用できるため管理経費などを節減できる旨が記載されているが、これまでの実績を踏まえたうえでの積算額か。
◇トピア米原	◇ はい。
◆選定委員	◆ 人件費について、常勤の管理者が 3 人計上されているが、市の積算では常勤は 1 人としている。3 人が常駐しているということではなく、1 人を常駐させるため 3 人を交替で配置していると考えてよいか。

◇トピア米原	◇ はい。3人のローテーションでの勤務となっている。
◆選定委員	◆ 収支計画書では、毎年法人市民税を8万円計上しているが、令和元年度収支決算においても支払っているか。
◇トピア米原	◇ 利用料を取っている関係から、営利事業という扱いになっているため、例年均等割分を支払っている。
◆選定委員	◆ 利用者については、地域住民の利用が中心となっているのか。また、減少傾向にあるが、どのように考えているのか。
◇トピア米原	◇ 地域の方というよりも全市域の方に利用されていると思っている。また、子どもの利用に関して、成長につれて減少する傾向にあるものの、今年度は体験農園などで約90人増えている。
◆選定委員	◆ これまでの運営の中で、利用者からの苦情・要望をどのように収集し、対応してきたのか。
◇トピア米原	◇ 作物ごとにアンケートを配布し、集約している。苦情ではなく、大体は誤解ですが、利用料や従業員の対応などについて問い合わせがあった程度である。
◆選定委員	◆ 施設利用の応募が多数あった場合は、公開抽選により公平・平等な使用許可を行うとの記載があるが、例えば、毎回応募したが抽選に外れた場合など、公平性・平等性についてどのように考えているのか。
◇トピア米原	◇ 抽選に外れることがないため、特に検討していない。
◆選定委員	◆ 非営利活動法人や小規模作業所などと連携し、積極的な障がい者雇用や、障がい者が勤務しやすい組織づくりに努めるとしているが、具体的にどのような取り組みをしているのか。
◇トピア米原	◇ 現在の組織の規模では難しく、具体的な想定はしていない。
◆選定委員	◆ 地域活性化に関し、農業体験情報発信事業として、市内の様々な農業の体験可能な施設や事業を紹介する情報発信の拠点化を目指すとしているが、この拠点化とはどのようなものを想定しているのか。また、それに関連して、パンフレットや直売所マップ等の資料を常備するよう努めるほか、独自の地域情報を発信するとしているが、その方法について伺いたい。
◇トピア米原	◇ この取り組みについて提案書に記載したが、現時点で実施は難しいと感じている。

- ・ (トピア米原 退室)

(委員長)

- ・ それでは、次に「一般財団法人北海道国際交流センター」(以下、「国際交流センター」という。)へのヒアリングを行う。
- ・ (国際交流センター 入室)
- ・ (国際交流センターから応募内容についての説明後、質疑応答)

◆選定委員	◆ 収支計画書の人件費について、市の積算約 2,085 万円より高い約 2,800 万円の積算額が示されている。一方、維持管理費については、市の積算約 410 万円に対し約 320 万円、事業費についても市の積算約 820 万円に対し約 600 万円となっており、市の積算より低額となっている。これらの積算の考え方について伺いたい。
◇国際交流センター	◇ 人件費について、事業を企画するスタッフと、受付や畑を管理するスタッフで大きく 2 つに分けており、前者は単価が少し高くなっているが、その分、様々な企画を実施したいと考えている。事業費等については、資材などは自前のものであるので、それを活用することを考えており、少なく見積もっている。
◆選定委員	◆ 人員体制について、常駐の統括責任者を年間 120 万円程の金額で積算しており、また、事務系のチーフ 1 人、事業スタッフ 2 人についても常雇としているが、これは貴団体の常勤の職員があたりということか。
◇国際交流センター	◇ 常勤のアルバイト職員で、時給で雇用することを想定している。
◆選定委員	◆ 亀尾ふれあいの里の開設期間は 11 月までとなっているが、閉館期間中の職員の雇用はどうなるのか。
◇国際交流センター	◇ 冬季には、当団体が行っている子ども食堂やフードパークといった他の事業に従事してもらい、雇用を継続したいと考えている。
◆選定委員	◆ 維持管理費の中の保険料について、25 万円計上しているが、保険事業者からの見積りによるものか。
◇国際交流センター	◇ はい。見積りを取って計上したものである。
◆選定委員	◆ 事業費の中の栽培管理費について、165 万円程計上しており、

<p>◇国際交流センター</p> <p>◆選定委員</p> <p>◇国際交流センター</p>	<p>低く抑えられているように見えるが、積算の考え方について伺いたい。</p> <p>◇ これに関しては、肥料・農薬等の金額であるが、JAなどに相談し算出したものである。</p> <p>◆ この事業を展開するにあたって、仮にこれ以上の経費がかかったとしても、貴団体の経費の中で補っていただくということでしょうか。</p> <p>◇ はい。団体として責任を持って実施したいと考えている。</p>
<p>◆選定委員</p> <p>◇国際交流センター</p>	<p>◆ 障がい者雇用などの実績はあるのか。</p> <p>◇ 職員として雇用した実績はないが、イベントボランティアとして携わってもらうことはある。障がい者と様々な事業をしてきた経験もあり、国際交流における外国人と同様の視点で、多様な人たちを受け入れていきたいと考えている。</p>
<p>◆選定委員</p> <p>◇国際交流センター</p> <p>◆選定委員</p> <p>◇国際交流センター</p> <p>◆選定委員</p> <p>◇国際交流センター</p>	<p>◆ 人員体制について、地元農業者の協力のもと管理していくこととしているが、地元の農業者を窓口担当や果樹等アドバイザーに充てるという想定か。</p> <p>◇ 迅速な対応を考慮し、受付と農地管理は地元の農業者を考えているが、受付に関しては我々も積極的に関わり、共に新たなものを築いていく体制を組みたいと考えている。</p> <p>◆ 協力を得られる地元の農業者について、すでに具体的な目処はあるのか。また、農業に関する知識や指導力についても問題ないと考えているか。</p> <p>◇ はい。もし選定された場合には、協力を得られる地元の農業者は何人かいる。また、果樹の管理に関しては、七飯の果樹農家と繋がりがあり、その協力も必要と考えている。</p> <p>◆ 農業による集客と、それに対する意気込みを伺いたい。</p> <p>◇ 農業は一般的に少し地味なイメージもあるが、そこに外国人や女性、移住者などが関わってくことで、大きく印象が変わると思っている。そういった外部の人を取り込むのは我々の得意分野であり、農業に興味を持つ人が増えることで地域が活性化することを期待している。これまでもホストファミリーなど、地域に何度も入り協力を依頼してきた経験もあるので、本事業も地域にしっかりと入り、様々な人に関心を持ってもらい、活気の</p>

	ある場所を作っていきたいと考えている。
◆選定委員	◆ 施設利用の応募の抽選が何度も外れてしまった場合において、市民の平等利用の確保をどう考えるのか。また、アンケートの実施を考えているようだが、フィードバック等に関し、どのような仕組みで行うのか。
◇国際交流センター	◇ 当団体で運営している青少年研修施設では、抽選ではなく申込の順番で受付をしており、一つの方法として、順番に受け付けて、それを公表する仕組みを構築することが考えられる。また、さらに公平性を高めるには、第三者を置くことなども考えられる。 アンケートについては、スマートフォンで読み込めるQRコード形式のものと、紙のもので実施することを考えている。アンケート集計については、東京大学のチームと何度か連携して行った実績があり、分析方法等についても学んでいるため、そういったものも活かしながら、フィードバックしていきたいと考えている。
◆選定委員	◆ 地域の活性化ということで、フォトコンテストを実施することとしているが、どういったものを想定しているのか。また、多くの人数が集まるイベントの実施を想定しているが、安全管理や運営体制について伺いたい。
◇国際交流センター	◇ 農業に関わるフォトコンテストにしたいと考えており、SNSの一つであるインスタグラムを活用するとともに、写真の専門家にも参加してもらい、農業あるいは当施設を中心とした写真を集めたいと考えている。 イベントの人数に関しては、このコロナ禍が続いているなかでは、参加人数の見直しも必要と考えており、参加人数に対する配置人員の見直しやボランティアの活用など、受入体制を強化したいと考えている。

- ・ (国際交流センター 退室)

4 亀尾ふれあいの里の採点

(委員長)

- ・ 応募団体へのヒアリングが終了したが、所管部局にヒアリングする事項はあるか。

(選定委員)

- ・ なし

(委員長)

- ・ それでは、採点を実施する。
- ・ (各委員「採点」)

(委員長)

- ・ それでは、後ほど事務局で集計した採点結果をもとに候補者の決定をすることとし、次の審査に移ることとする。

5 函館市民スケート場の審査

(委員長)

- ・ 次に、「函館市民スケート場」の審査を行う。
- ・ はじめに、「公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団（以下、「財団」という。）」へのヒアリングを行う。
- ・ （財団 入室）
- ・ （財団から応募内容についての説明後，質疑応答）

【質疑応答の概要】

◆選定委員	◆ 収支計画書の人件費について、市の積算約 9,500 万円に対し約 4,300 万円の積算となっている。また、水道光熱費について、市の積算約 1 億 3,000 万円に対し約 1 億 4,200 万円の積算となっている。委託費は、市の積算約 1,800 万円に対し、約 1 億 1,800 万円と大きく乖離している。それぞれの積算の考え方について伺いたい。
◇財団	◇ 専門性が求められる氷上管理については、一部を業務委託により実施する予定であるため、人件費と委託費において市の積算と乖離が出ている。水道光熱費については、これまでの実績を加味しているが、特に冷凍機については、従来の重油を使うタイプから電気によるものに変更となっており、この部分で市の積算と差が出ていると思われる。
◆選定委員	◆ 募集要項にも示しているが、各年度の電気料が約 2,350 万円に満たない場合には、その差額を精算することとしているが、了解しているか。
◇財団	◇ はい。
◆選定委員	◆ 氷上管理の一部を委託することで、委託費が増え人件費が減ったということだが、委託費が 5 か年で約 1 億円であるが、事業者から見積等を取ったものと考えてよいか。また、専門性があり、直営では難しい業務ということか。
◇財団	◇ はい。以前は氷上管理に必要な整氷車等について、事業者からの持ち込みを含めて委託してきたが、今後は市がリースすることとなっており、それを踏まえて精査しており、以前より委託費は安価になっている。

◆選定委員	◆ 収支計画書の自主事業について、スケート靴の貸出収入と売店収入の記載があるが、この自主事業は利益が生じない事業なのか。また、これまでも利益が生じない事業として行ってきたのか。
◇財団	◇ 靴の貸出業務については、現在新型コロナウイルスの影響により、利益は見込めないと考えている。利益があった場合には、その一部を管理経費に充てることも考えている。 また、飲食や物販についても、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、休憩スペースが3密になる恐れがあり、通常どおりの提供は難しいと考えており、利益はないものと見込み提案した。
◆選定委員	◆ スケート靴の貸出収入については600万円で想定しているが、超えた場合は財団の利益となるのか。あるいは、収支は必ず0になる仕組みか。
◇財団	◇ スケート靴の貸出の自主事業を提案するにあたって、購入しようとする1足あたり約2万円であり、2,000足とすると初期投資で約4,000万円かかり、棚や研磨機も含めると数千万円必要となるため、業者を探して靴はレンタルで用意することとした。利用者に貸し出すごとに業者にレンタル料を支払うため、全てが利益になるわけではない。
◆選定委員	◆ 単価契約のような形式で、1足あたり決められた金額で委託により貸し出すため、貸出が増えることで支出も増えることから、大きな利益は生じないと考えているということでしょうか。
◇財団	◇ はい。
◆選定委員	◆ 管理運営の考え方について、スケートリンクは事故の発生率が高いスポーツ施設であると想定されるが、安全管理体制について、具体的な事例を伺いたい。
◇財団	◇ 利用者の半分以上を小中学生が占めており、頭を打つなどの事故がシーズンを通して数十件起きている。職員が中心となり、マニュアルに従って対応するとともに、対応内容についても職員間で共有し、適切な対応であったかフィードバックをするなど、次に繋げるよう努めてきた。今後も常に更新しながら安全管理に活かしていきたいと考えている。

・ (財団 退室)

6 函館市民スケート場の採点

(委員長)

- ・ 応募団体へのヒアリングが終了したが、所管部局にヒアリングする事項はあるか。

(選定委員)

- ・ なし

(委員長)

- ・ それでは、採点を実施する。

- ・ (各委員「採点」)

(委員長)

- ・ それでは、後ほど事務局で集計した採点結果をもとに候補者の決定をすることとする。

7 亀尾ふれあいの里・函館市民スケート場の候補者の決定

(委員長)

- ・ 次に、候補者の選定に入る。
- ・ まず、「函館市亀尾ふれあいの里」の指定管理者候補者を選定する。
- ・ それでは、事務局で集計した採点表をご確認いただきたい。
- ・ それぞれの応募団体の平均点については、「トピア米原」が 399 点、「一般財団法人北海道国際交流センター」が 427 点で「一般財団法人北海道国際交流センター」の方が高得点となった。
- ・ 選定委員会としては、各委員の採点の平均点が高い「一般財団法人北海道国際交流センター」を指定管理者候補者として選定することに異議はないか。

(選定委員)

- ・ 異議なし

(委員長)

- ・ それでは、異議がないので、「一般財団法人北海道国際交流センター」を指定管理者候補者として選定することとする。

(委員長)

- ・ 次に、「函館市民スケート場」の指定管理者候補者を選定する。
- ・ それでは、事務局で集計した採点表をご確認いただきたい。
- ・ 「函館市民スケート場」については、「公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団」を指定管理者候補者として選定することに異議はないか。

(選定委員)

- ・ 異議なし

(委員長)

- ・ それでは、異議がないので、「公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団」を指定管理者候補者として選定することとする。

8 公募3施設（現指定管理者のみの応募）の候補者の決定

（委員長）

- ・ 次に、現指定管理者1団体のみの応募であった3つの公募施設について、事務局で集計した採点表をご確認いただきたい。
- ・ 本施設については、応募団体等へのヒアリングは必要なしということで確認済みであり、各委員による評価・採点は既に終了している。
- ・ 記載のとおり結果となったが、「函館市青函連絡船記念館摩周丸」については、「特定非営利活動法人語りつぐ青函連絡船の会」、「はこだてみらい館・はこだてキッズプラザ」については、「はこだてみらいプロジェクト運営グループ」、「南茅部地域社会教育施設等」については、「セントラル警備株式会社」を指定管理者候補者として選定することについて、異議はないか。

（選定委員）

- ・ なし

（委員長）

- ・ それでは、そのように選定することとする。

9 特例5区分の候補者の決定

（委員長）

- ・ 最後に、特例措置を適用する5件の選定を行う。
- ・ 特例5件についても各委員には、事前に選定書類を確認いただいております。当該施設の審査にあたり、所管部局へのヒアリングは必要ない旨、確認がなされています。
- ・ それでは、「函館市旧イギリス領事館（開港記念館）」については、「一般社団法人函館国際観光コンベンション協会」、「函館市漁村センター」については、「函館市漁業協同組合」、「函館市青果物地方卸売市場」については、「函館青果管理株式会社」、「函館市北方民族資料館」と「函館市文化館」については、「公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団」を指定管理者候補者として選定することに異議はないか。

（選定委員）

- ・ 異議なし

（委員長）

- ・ それでは、記載のとおり、それぞれの団体を指定管理者候補者として選定する。
- ・ 以上で本日の審査を終了する。

10 閉会

（行政改革課長）

- ・ 選定結果および会議録概要については、後日、市のホームページにおいて公表する。
- ・ 次回の選定委員会は、あらためて日程調整させていただく。
- ・ 以上で、本日の選定委員会を閉会する。